



さくらやまぶ

里山辺地区防災について

2024年9月1日現在	
世帯数	: 5,541戸
男	: 5,742人
女	: 6,171人
計	: 11,913人

9月は、大正に発生した関東大震災の教訓と台風による被害が多いことから、防災月間として日本に根付いていきます。里山辺地区でも7月・9月の間に町会等と連携し、防災意識の向上のため催しを行います。

初めに、7月21日(日)9時から自主防災連合会が主体となり、地震被害を想定した安否確認訓練が行われました。初めての試みであった本訓練は、事前に配布してある「安否確認カード」を時間になったら自宅玄関に掲示し、自身及び家族の安否を近隣または町会役員等に報せるものです。自主防災連合会の成田会長は、「安否確認カードが安否確認をスピードアップし、迅速な把握が、助かる命を救うことができる」と話していました。



安否確認カード

防災意識は大人だけでなく、子どもにも必要です。

要になってきます。茨城県の国立研究法人土木研究所主催、里山辺公民館・センター共催で夏休み企画とし、7月の終わりに8月の中旬にかけ、中学1・2年生を対象とした仮想洪水体験事業が行われました。本事業は、マインクラフトというゲームを駆使し、里山辺地区に水害が起きた場合どのような被害が広がっていくかを見ていくものです。4日間に分けて行われ、参加者が自分の家や土地をゲーム内に作成し、そこに水を流しどうなるか、体験をしました。国の機関と連携できた貴重な体験となったこと、そして参加した中学生たちに防災意識を学んでいただくことができ、良い事業となりました。

最後に紹介するのは、8月25日(日)に里山辺地区避難所運営委員研修会です。避難所運営委員を対象とした本研修会は、株式会社ビーコンラングの西沢先生をお呼びし、チームワークの大切さと、演習では実際にグループ間で避難所運営

わが町紹介

●上金井町●

お船祭りのお囃子

毎年5月5日。盛大に開催される里山辺地区のお船祭り。源義経公を擁する上金井町会のお船は1726年(今から298年前)に建造され、現在に受け継がれています。

何百年も続いてきたお船祭りですが、今から50数年前、お囃子の笛を吹く後継



のガイドラインの作成を行ったりしました。実際に災害があった時にどう動くか、どうやって連絡を取り合うか等委員間で様々な意見が出ていました。

9月29(日)日には避難所運営委員が集まり、防災訓練があります。

災害は、いつ起こるか分かりません。家族間で決めごとをしたり、防災関係の備蓄をしたりと、普段からの備えが身を守る第一歩だと感じます。

魚つかみ体験

8月8日(木)に、里山辺・入山辺公民館共催で、小学生を対象とした夏休み企画「魚つかみ体験」を薄川で実施しました。二部構成となっており、第一部は魚つかみ体験、第二部はエクセラン高等学校の環境科学コースの先生と学生をお呼びし、水生生物の観察を行いました。

第一部の魚つかみ体験は、低学年・高学年で川の深さを変えて臨みましたが、運営側の計画の詰めが甘かったため、魚を捕まえない子ども達が続出してしまいました。

第二部は、先生を中心に薄川で捕まえた水生生物の観察

者が途絶え、最後の奏者の金井氏が奏でる笛の音を録音で流していました。

当時、伝統の笛を絶やしてはいけないうと、上矢崎の矢沢氏が、毎晩録音を聞いて譜面に起こしました。これは並大抵の苦勞ではなかったと聞いています。

こうやって矢沢氏の尽力と、町会の人たちの協力により、伝統のお囃子が返ってきました。今は、女性の笛奏者も加わり、上金井町会をこよなく



を行いました。網を片手に岩の下や草の下を探ると、浅瀬にも関わらず意外と多くの生き物がいました。子ども達がこの講座を通して少しでも自然学習に興味を持ってくれていると嬉しです。

この体験講座は夏の人気企画となっており、来年度も実施予定です。多くの子ども達のご応募お待ちしております。



愛する後輩たちにより、受け継がれています。これから何十年も、何百年も、ずっと引き継がれていくことを願っています。

上金井町会公民館長 丸山賢

里山辺地区 夏まつり

令和6年7月26日、里山辺地区公民館駐車場において、里山辺地区「夏まつり」が里山辺地区福祉ひろば事業推進協議会主催で開催されました。

各種団体が出店を行い、閉店時間より前に売り切れが続出する程の大盛況ぶりでした!

皆さんの夏の思い出の一つになっていたらとても嬉しいです♪



7月20日に行われたわいわいファーム小収穫祭は、照りつける日差しが暑いなか行われました。

4月に植えたジャガイモとトウモロコシが実り、参加者の皆さんは土まみれになりながら収穫をしました。また、太陽は雲間に隠れながらではありましたが、暑く、汗を垂らしながら頑張りました。

収穫したジャガイモとトウモロコシは、里山辺公民館で蒸して、バターを垂らして皆さん



里山辺地区 スポーツ行事結果



出場された選手、役員、応援していた皆様大変ご苦労様でした。

【第71回野球大会】

(軟式野球は、熱中症警戒アラート等の発令により、準決勝までの開催で、決勝2チームが優勝となりました)

◆Aブロック

優勝…下金井

優勝…薄町

優勝…南北小松

優勝…新井

優勝…新井

優勝…荒町

優勝…新井

優勝…荒町

軟式野球

優勝…下金井

優勝…薄町

優勝…南北小松

優勝…新井

優勝…新井

優勝…荒町



排球

◆Bブロック
優勝…藤井
準優勝…薄町

【第20回マレットゴルフ大会】

男子の部
優勝…常田 良一
準優勝…内田 喜美雄
三位…柳澤 恒男

女子の部

優勝…武田 通子
準優勝…麻原 長子
三位…田中 よし子

に食べてもらいました。小幡公民館長が育てているブドウ畑の下で暑さをしのぎつつ、歓談しながらおいしくいただきました!

ジャガイモは食べた分とは別に皆さんに配りました。ご家庭でどんな料理で食べましたか? 9月には大収穫祭でジャガイモを使ってカレーを食べますので、お楽しみに!!



館報のあゆみ

『館報さとやまべ』が、7月30日号で昭和30年1月発刊以来400号を達成しました。産声をあげてしばらくは、松本市公民館報【里山辺版】として発行され、現在のように『館報さとやまべ』となったのが、昭和53年の5月30日号からのことです。『館報さとやまべ』に代わったことで、より親しみやすい館報となりました。館報にはその時々々の出来事、公民館の事業や里山辺地区のスポーツ大会の結果が載せられ、昭和、平成、令和と里山辺の歴史の証人となってきました。この館報も平成7年に昭和と平成、平成8年から平成31年3月号までが平成の合冊版としてまとめられています。これからも親しみやすい館報を発行していきますので、よろしく願います。

館報編集委員会



▲昭和60年頃の湯の原旅館街

